



地域の魅力知るヒントに

宮城・蔵王に「ジオパークセンター」オープン

2024年10月、宮城県蔵王町に蔵王ジオパークの拠点施設「蔵王ジオパークセンター」がオープンしました。北川桐香さん(29)は「地域の魅力を知るヒントがたくさんあります。まずは遊びに来て」と呼びかけているよ。

(1面に関連記事)

遠刈田地区公民館の一部を改装したセンターは、蔵王ジオパークを巡る旅の出発地点です。四季折々の景観や、地質や地形を解説する資料が展示されています。見どころは、地形の

遷り周辺の自然についての紹介です。蔵王の大地の歴史をパネルを使って分かりやすく紹介しています。

岩石標本の展示もあります。過去の噴火で吹き出した軽石などの火山噴出物、湖の底にたまった泥が固まってできたけいそう質シルト岩などが並びます。全て蔵王地域で見つかったもので、形や色、大きさはさまざま。一部は触ってもOKです。



地域の見どころを紹介する蔵王ジオパークセンター(右上) 貴重な岩石標本を展示(左) 認定ガイドの活動報告も紹介(右下)



北川さんは「蔵王の遺産を守り、活用することを通して、地球について考える人が増えるとうれしい」と話します。

開館は午前9時〜午後4時。無料。休館日は月曜(月曜祝日の場合は翌日)と年末年始。

認定ガイドの活動や宮城県内の学校で行っている出前授業を紹介するコーナーもあります。ジオパークが取り組む教育活動や保全活動にも関心を持ってもらうのが狙いです。

QuizKnock と巡る 江戸東京博物館展

東北が江戸になる!

伊沢拓司 山本輝彰 鶴岡徳功

知れば知るほど「江戸」はもっと面白くなる。

徳川幕府の政治拠点として栄えた「江戸」。町がどのように造られたのかを歴史資料や体験模型で紹介しています。浮世絵など多様な絵画や生活の道具などの他、「武家諸法度」「ペリー横浜来航の図」といった、教科書にも出てくる資料も注目です。「大名駕籠」や「棒手振り」などの体験模型は乗ったり、担いだりすることもできます。さらに、知的エンタメ集団QuizKnockが、彼らならではの視点で江戸の歴史を紐解き、入場者の見学をナビゲートします。時代劇や小説、教科書でおなじみの「江戸」ですが、本展を見学すればもっと面白くなること間違いありません。

会期

2025 4/19(土) - 6/22(日)

■開館時間 午前9時30分〜午後5時(発券は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日、5月7日(水)・*たし、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館

■入場料

一般	1,300円
(当日券1,500円)	
小・中・高生	500円
(当日券600円)	

お得な前売券 好評販売中!

■チケット取り扱い ●は、前売券のみ販売

東北歴史博物館、●藤崎、●ニッセンレン・テラス セルバ店、●河北新報販売店、アンビュール、ローソンチケット(Lコード:22866)、セブンチケット(セブンコード:108-704)、ファミリーマート(Finity)

(注)前売券の販売は4月18日まで、以降は、当日券料金での販売となります。

■主催:東北歴史博物館 河北新報社 毎日新聞

■監修:東京都江戸東京博物館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

左記写真(右から時計回りに) ①橋本貞虎/「徳川幕府の政治拠点として栄えた江戸」 ②山本輝彰/「江戸の町がどのように造られたのか」 ③伊沢拓司/「武家諸法度」 ④ペリー横浜来航の図 ⑤鶴岡徳功/「大名駕籠」や「棒手振り」などの体験模型 ⑥乗ったり、担いだりすることもできます。さらに、知的エンタメ集団QuizKnockが、彼らならではの視点で江戸の歴史を紐解き、入場者の見学をナビゲートします。時代劇や小説、教科書でおなじみの「江戸」ですが、本展を見学すればもっと面白くなること間違いありません。

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL:022-368-0106 FAX:022-368-0103
E-mail:thm-service@pref.miyagi.jp
https://www.thm.pref.miyagi.jp/